

いつか納税者になる僕が

今回、僕が税金について調べようと思ったのは、学校で貸与されているパソコン代金が支出されている裏側を知りたくなったからです。一台5万円もするパソコンを生徒たちが使えるのは、税金のおかげです。そこで僕は、税金の中でも身近な消費税と他の国との違いを調べました。すると、消費税は意外に複雑であり、その国によって消費税率も違うことがわかりました。

最初にネットで日本の消費税の歴史を調べました。日本で初めて消費税が導入されたのは1985年で3%でした。消費税を導入するときには、大きな反対があったそうです。

日本は戦後四十年間程度は、消費税がなかったことに驚きました。そして、消費税は少しずつ上がっていきました。

現在の日本の消費税率は 10%ですが、飲食物(アルコールを除く)や契約している新聞は8%です。しかし、先進国の中では日本は消費税率が低い方です。また、世界で一番消費税率の高い国はハンガリーで、27%です。北欧三カ国は「高福祉、高負担」と呼ばれており、消費税率は高いです。そのため、福祉が手厚い傾向にあります。標準的な消費税は 25%で食料品はその半分です。もちろん消費税以外の税金も支払っているのですが、手取りは少ないそうなのですが、社会保障を含め国民が満足する見返りがあるそうです。

一方アメリカは、「低福祉、低負担」と呼ばれています。税金や社会保障制度の負担が少なく、自分の責任で暮らすそうです。手取りは多いけど、貯金がないと緊急のときに困ると思います。

日本は、二つの中間である「中福祉、中負担」ではないかと思い調べてみると、「中福祉、低負担」の状態でした。そして、不足分を国の借金である国債によってまかなっていると知りショックを受けました。このことに気づいていない日本国民は意外と多いのでは

ないでしょうか。支出の多くは、高齢化による年金や健康保険の増加ですが、最近では子育てにも力を注いで税金を使っていくようです。今後、税金の仕組みの維持のために税金を僕たちがどう負担していくのが良いのか検討が必要だと思います。

消費税は、みんなが平等に負担する税です。豊かな人より貧しい人の方が、負担を大きく感じるそうです。税金の仕組みは難しいですが、富の再配分という役割もあるそうです。消費税は国の重要な収入源で税収の 21%になります。これからも消費税は少子高齢化のため、上がっていくと思います。

今年は定額減税をやっていると聞きました。食料品などが値上がりしているのを政府が助けてくれる目的だそうです。僕は、この税金を国民のために広く使って欲しいです。

そして、学校で使うパソコンもその一部と思うので大切に使いたいです。税金を納めてくれてる大人たちがいることも忘れずにいたいです。